

人形劇の名舞台を振り返る

Play Back the Stage



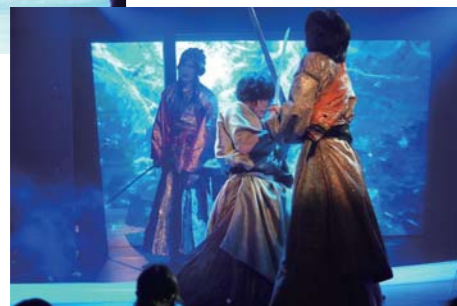
2015 『天地転動～富士はニッポンイテの山～』



2018 『犀』 撮影：清水ジロー



2021 『トゥーランドット姫』



今回は、わたくし山内が地元名古屋発・芝居と人形(オブジェ)の融合をテーマに3つの作品をご紹介します。

まず初めは愛見協により上演された『**天地転動**』(作・演出：佃典彦)。いじめられっ子の少年が古事記の世界にトリップし、スサノオと共にヤマタノオロチを退治する物語。愛知を拠点に活動するアーティストが一同に共演したこの作品。劇中に出てくる巨大なヤマタノオロチやスサノオを人形劇団むすび座が製作担当し、ダンサーや俳優、クラウンも操演に加わり、ジャンルの垣根を超えた、正に演劇の異種格闘戦でした。

次に紹介するのは、愛知人形劇センター主催で上演された『**犀**』(演出：ニノキノコスター)。イヨネスコの不条理劇を世界初の人形劇として上演したこの作品。ファシズムに支配され、世論に同調して行く人間心理を段ボールという普遍的な無機物で表現させた演出は、オブジェクトパフォーマンスと演劇の相性の良さを提示させました。世論への付度と自分の正義の中で、全体主義に屈しまいともが主人公がギリギリの攻防戦を続けている中、ファシズム(犀)=段ボールの山が徐々に侵食して行く様は恐怖を煽り、意思を持たないモノであるが故に説得力が増します。

最後はナゴヤ座『**トゥーランドット姫**』(作：保科由里子、演出：田尾下 哲)。プッチーニのオペラを芝居のみで構成させた作品。舞台は北京。美しく冷酷な姫、トゥーランドットと結婚するには3つの謎を解く事が必要でした。そのトゥーランドットにダッタン国の王子カラフは恋をし、見事謎を解く事で愛を呼び起こします。その中で印象的に登場するのが何枚もの布。感情を排するようなモノクローム感を巨大な白い布で見事に表現し、時には炎に、時には氷の壁にと変幻自在に場面を彩ります。それを見事に体現するためには劇団のアンサンブルが必要不可欠で、それがしっかりとまとまっていて密度の濃い舞台空間に仕上がっていました。

愛知人形劇センター理事 山内庸平

2022年度事業一覧

愛知県下アマチュア劇団・合同製作
人形劇団ひつまぶし公演
『**うたのすきなりゅう**』
7月3日(日) 14:00
前売600円 当日700円
※センター会員500円(事前申込に限る)
※3才以上有料、大人子ども同一料金

ラストラーダカンパニー公演
『**浄瑠璃版サロメ**』
7月22日(金) 19:00
23日(土) 11:00-15:00
前売3,000円 当日3,500円
※未就学児(6歳以下)入場不可

愛知人形劇センターPresents
チェコ・アルファ劇場公演
『**快傑ゾロ/Pozor! Zorro**』
8月16日(火) 19:00
17日(水) 14:00

愛知県芸術劇場小ホール
(愛知芸術文化センター地下1F)
前売3,000円 当日3,500円
※センター会員2,700円(事前申込に限る)



P新人賞2020受賞作品
『あの日から彼は私のことをしげると呼ぶようになった』より

P新人賞2020受賞記念公演
10月22日(土)・23日(日) 3ステージ
出演：劇団野らぼう
作品未定

愛知人形劇センターPresents
『**人形劇 寿歌**』
11月30日(水)～12月4日(日)
前売3,500円 当日4,000円
※センター会員3,100円(事前申込に限る)

愛知人形劇センターPresents
筒井康隆作『**夢の検閲官**』
12月23日(金)～25日(日)

avecビーズ evolution17
『**港町memorial-II～ラビロニへ～**』
ーすべて我が胎内に在り波に映え 光、風、空、夢、心ー
2023年1月26日(木)～29日(日)
前売3,000円 当日3,500円 中高生2,000円

P新人賞最終選考上演会(公開)
2023年2月18日(土)・19日(日)
前売2,200円 当日2,500円
※センター会員1,900円(事前申込に限る)

INFORMATION

特定非営利活動法人愛知人形劇センター
令和4年度通常総会が開催されます。
2022年5月23日(月) 19:00～
損保ジャパン人形劇場ひまわりホール
【議題】令和3年度事業報告及び決算報告
令和4年度事業計画及び予算提案
令和4～5年度役員選出



特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
https://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
あぶ
愛知人形劇センター
Aichi Puppetry Center
愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
発行：特定非営利活動法人 愛知人形劇センター
発行人：高橋一彦
編集人：中康彦
デザイン：江利山浩二(KINGS ROAD)
編集：小島祐未子(常務編集委員)

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

あぶ

Aichi Puppetry Center

ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌



多彩な
演劇の
新境地
P新人賞
決定！

- ① P新人賞2021最終選考上演会より
② 長谷川唯(公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会所属/埼玉県)『茶室道中』
③ APINUN(山村佑理×あづみあの/東京都)『牛』
④ トランク機械シアター(北海道)『きらわれドロンと、魔法の鏡』